

平成30年度北方四島交流受入事業（一般：富山県）実施結果概要

10月11日から10月16日の日程で北方四島在住ロシア人59名を富山県で受入れました。

富山県内のプログラムでは、訪問団代表による石井 隆一富山県知事表敬訪問を実施、県内の風土・歴史を学習するため五箇山（相倉合掌造り集落）、瑞龍寺、北前船廻船問屋「森家」邸宅、富山城を見学するとともに、黒部市生地地区のまち歩きを実施しました。また、富山県の産業を支えた、富岩運河を水上ラインに乗船し視察するとともに、日本の先進的な工業技術の学習のためYKKセンターパークを見学、その他現代アート作品等が展示されている富山県美術館を見学しました。

交流プログラムについては、地元富山県の方々にご協力いただき、ホームビジット、住民交流会、夕食交流会を実施しました。ホームビジットでは、実際に各家庭に訪問し、食事を取りながら交流を深めるとともに、住民交流会では、黒部市の方から特産品を交えた地元の紹介を行うとともに、打ち解けた雰囲気の中、北方四島在住ロシア人及び富山県内参加者等が持ち寄った「大切な思い出の写真」を話題に意見交換を実施しました。

夕食交流会では、主にホームビジット受入家庭や住民交流会の出席者との歓談を行うとともに、地元グループによるマジックショー、伝統的な民謡「魚津せり込み蝶六」の披露を行い、日本文化に触れました。

受入事業での様々な体験・視察プログラムにより、北方四島在住ロシア人が富山県の風土や歴史について学習し、また、交流プログラムにより、数多くの出会いや交流が生まれ、友好を深めることができました。



県知事への表敬訪問



五箇山合掌造り集落の視察



瑞龍寺



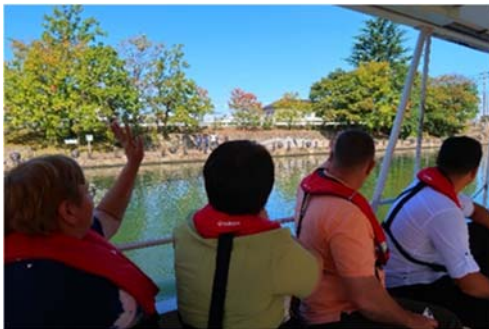
北前船廻船問屋「森家」



富山城



黒部市生地地区のまち歩き



富岩運河水上ライン



YKKセンターパーク



富山県美術館



住民交流会